

『飽波と阿久奈弥』
藤枝市と奈良
県に一つずつあ
る全国二ヶ所
しかない飽波神
社。水が湧いた名
前とから湧く地
が、伝わりやす
く、水が湧く地
域は、古代では
阿原(アワラ)と
言われていまし
た。では、その
名前の由来は何
なのでしょいか。
推定される正倉
院蔵法隆寺幡銘
に『阿久奈弥
(アクナミ)評君
女子為父母作幡
の』とあり、ア
このことから、



4つの学校と地
域の皆様の協働
体、それがコミュ
ニティ・スクー
ルです。

コミュニティ・
スクール新聞は、
地域と学校が協
働して未来を育
むための情報を誌
す。



発行所 藤枝
中学校区学校
運営協議会
事務局

コラム

クナミと称す
る人々が当
法隆寺の檀
家であった
可能性を考
え、また、
姓氏は録の
に主は、仁
村は、寄徳
あり、仁名
に呼び、寄
に孫系と技
渡来孫とみ
の、日本書
は、評言、
化レ雄、雌
は、王権と
な名前でし

7月27日(月)の5日
31日(金)の5日
間、下伝馬公民
館を主催にし
て、地域が主
る、地域の触れ
も、体験活動が
施され、午前9
午後4時まで



地域主導による
居場所作りの挑
戦

参加した子ども
の延べ人数は、
2の延べ人数は、
1の延べ人数は、
また、中学生が
ボラ活動の支
し、地域の子
ちが、子ども
て、楽しい時
過、ごしました。



行動は、午前中、この活
動は、午後に、練習日
替わり、午後には、実
活、動、様々な体験
です。初日の午後には、
子役となり、子が議
員、市議会を、市施
し、市議会、市会
議員と意見交換
しました。2日目の午後、
入浴、教室と温泉
午後、吹き矢
大会、午後、4日
目、午後、竹、子
ら、手、たり、が、子
を、使、つ、た、し、た、最
う、め、んな、ど、した、最
終、祭りの午後、は、最
夏祭りの午後、は、最
よ、祭りの午後、は、最
験、を、しました。

このような地域
が主体となる活
動は、全国的にも
まだ少なく貴重
な先駆事例だと
思います。

未来を拓く活動



『夏休み
子の社会体験』
この活動の主催
者は、以下、通
りです。
藤枝第6・7・
8自治会・民生
委員・下伝馬
内会・白子町
会・左車町内
長・楽寺一町
本町の皆様・各
町内会有志

